

2009年度

科目名	哲学B				
担当教員	池田 清				
配当	文 1・教育1・人間1		コード	43080	
開期	後期	講時	木曜日3限	単位数	2
授業テーマ	写真 映画 トラウマ 欲望 無意識				
目的と概要	街にあふれるポスターを見たり、ドラマや映画を観るとき、何が起きているのでしょうか。例えば、新しい商品が欲しくなったり、登場人物に同情して泣いたり、怒ったりします。つまり、メーカーが買って欲しいものや、監督が泣いたり怒ったりして欲しいことに、われわれは反応してしまいます。私の「～したい」という欲望は、私以外の他者の欲望によって自由に操られているということです。私の欲望と他者の欲望はどういう関係にあるのか、これを知ることが授業の概要であり、目標です。				
成績評価法	平常点、本試験から総合的に評価します。				
テキスト	テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。				
参考書	授業中、その都度指示します。				
履修に当たっての注意・助言	哲学の授業を有意義かつ面白いものにできるかどうかは、皆さんにかかっています。積極的に授業に参加して下さい。				
講義計画					
<p>◎ 哲学は、訳の分からない難しいへ理屈でもなければ、現実離れた抽象的な言葉遊びでもありません。実は、日常生活の中で「どういう意味何やろ?」、「何でなんやろ?」と思った時に、もうすでに哲学の世界に一歩足を踏み入れているのです。われわれは、映画を見たり、写真を見たり、また夢を見たりしていますが、こうした日常的な経験の中で何が起きているのでしょうか。何で、ドラマを観て、泣いてしまうのでしょうか。授業では、映画や写真などの映像を見るということは、どういう経験なのかを問題にしなが、その経験を可能にしている様々な要因を洗い出し、くわえて、これまでの哲学史上のテーマ・考え方・概念などを紹介していきます。その場合、重要なのは、自分自身の日常生活に疑問を抱くことです。この日常生活への反省からすべてが始まります。</p> <p>1映像＝単語説 映画と言語の類似性  2言語とモンタージュ  3映像＝単語説批判  4同一化理論と精神分析  5フロイトのエディプス・コンプレクス  6 同上  7ラカンのエディプス・コンプレクス  8 同上  9同一化のまとめ  10ラカンのシェーマL  11 同上  12フロイトの「エマの症例」研究  13無意識の在り処  14試験対策問題  15まとめ</p>					